

2018.04.11 (WED)

4月 社会学研究科・学部教授会 議事要旨

議事に先立ち、4月1日付社会学研究科教員及び事務職員の人事異動等の紹介があった。

I 議事要旨の確認

- 1 平成29年度3月社会学研究科・学部教授会議事要旨
議事要旨を確認した。

II 報告事項

- 1 平成30年度一橋大学大学院博士課程入学試験の実施について
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 2 平成30年度大学院学生募集要項等について
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 3 平成31年度大学院学生募集要項等について
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 4 国際・公共政策教育部と中国人民大学公共管理学院との部局間交流協定（学術・学生）の締結について（新規）
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 5 法学研究科／国際・公共政策教育部とルーヴェン・カトリック大学人文学部／社会科学部との部局間交流協定（学生）の締結について（新規）
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 6 国際・公共政策教育部と上海財経大学公共経済・管理学院との部局間交流協定（学術）の締結について（更新）
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 7 一橋大学大学院経営管理研究科細則等の一部改正について
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 8 法科大学院認証評価報告書について
他研究科の案件のため、回覧とした。
- 9 経営管理研究科の設置に伴う学内規則等の制定及び一部改正について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。

- 1 0 一橋大学学位規則の一部改正について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 1 1 「一橋大学強化プラン（５）：日本の社会科学の発展に向けて」について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 1 2 学生の処分についての教授会審議結果について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 1 3 学生の処分についての教授会審議結果について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 1 4 修士課程の９月修了について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 1 5 ニューサウスウェールズ大学との大学間交流協定(学術)の締結について（新規）
研究科長から、資料に基づき、説明があった。
- 1 6 パリ・ドフィューヌ大学との大学間交流協定（学生）の締結について（新規）
研究科長から、資料に基づき、説明があった。
- 1 7 一橋大学古本募金の実績報告について
研究科長から、資料に基づき、説明があった。
- 1 8 平成２９年度（平成３０年３月）卒業生数及び修了者数について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 1 9 平成２９年度学部休学者及び学部退学者について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 2 0 平成３０年度学部入学者選抜実施結果について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 2 1 平成３０年度転学部、複合領域コース編入学、再入学及び聴講生選考の実施結果について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。
- 2 2 研究科内センターの活動報告及び事業計画について
代表者から、各センターの平成２９年度活動報告及び平成３０年度事業計画概要について説明があった。
- 2 3 寄附金受入報告について
研究科長から、資料に基づき、報告があった。

2 4 平成30年度一橋大学予算について

研究科長から、資料に基づき、報告があった。

2 5 学長裁量経費（大学戦略推進経費）提案書について

研究科長から、資料に基づき、説明する

2 6 社会学研究科の名義使用申請について

研究科長から、資料に基づき、1件の申請があり運営委員会で審議した結果、承認された旨、報告があった。

2 7 平成29年度情報セキュリティ対策としての自己点検の結果報告について

研究科長から、資料に基づき、報告があった。

2 8 海外渡航（報告）

研究科長から、資料に基づき、4件の出張報告があった。

2 9 その他

① 法学部における早期卒業制度の導入について【意見聴取】

研究科長から、資料に基づき説明し、意見交換を行った。

III 審議事項

1 平成30年度社会学研究科予算案について

研究科長から、資料に基づき説明があり、承認された。

2 客員研究員の受入について

研究科長から、資料に基づき提案があり、承認された。

杜 念慈（ト ネンジ）氏 受入教員：中田教授

3 成績の訂正について

研究科長から、資料に基づき提案があり、承認された。

4 指導教員の変更について

研究科長から、資料に基づき提案があり、承認された。

5 その他

① 人事について

研究科長から、人事について説明があり、次回引き続き検討することとした。

② 研究科長任期の任期について

研究科長から、任期を年度に合わせる形にしたい旨の提案があり、承認された。